

京交山岳部報

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2593回★ 柚子ちーざケーキ 「磨のお気に入り」 発売記念 愛宕山&柚子風呂	2月6日(土) AM9:00 京都バス 清滝バス停集合	清水 康裕	清滝…水尾別れ…愛宕神社… 水尾別れ…水尾(柚子風呂, 宴会) —JR 保津峡駅 解散
備考 ・装備 軽アイゼンが必要です。 ・参加希望者は担当者へ連絡してください。			
第2594回★ 「百里ヶ岳」	2月13日(土) AM7:00 五条烏丸 東北角集合	吉田 武	五条烏丸—葛川梅の木—朽木 小入谷…根来坂峠…百里ヶ岳… 根来坂峠…朽木小入谷—葛川 梅の木—五条烏丸 解散
備考 ・装備 冬山装備一式, スノーシュ ・地形図 国土地理院 1/25,000 「古屋」 ・参加希望者は担当者へ連絡してください。			

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2595回★ 府民 野鳥観察会	2月21日(日) AM9:00 京都御苑 間之町西南角 集合 (烏丸丸太町東へ100m) 雨天2月28日(日)に延期	岡田 茂久 方山 宗子	九条池—御苑内半周—近衛邸 跡 約2km 正午頃 近衛邸跡付近 解散
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都御苑で見られる冬鳥を観察しながら、春を見つけ、季節の移ろいを感じよう。 ・自然について考察を深めるきっかけにしよう。 ・講師 日本野鳥の会 京都支部より(予定) ・交通機関 地下鉄烏丸線 丸太町駅、市バス 烏丸丸太町バス停 ・持ち物 防寒具(防寒対策を十分に)、双眼鏡(あればフィールドスコープ)、筆記具 ・参加費 500円(資料・講師謝礼を含む) ※今回は保険に入っていないので、事故、怪我など自己責任でお願いします。 ・参加希望者は2月1日(月)～13日(土)の期間に担当者へ連絡してください。 ・資料作成等の都合上、申し込み期日を必ずお守りください。 ・雨天中止の問い合わせは当日7:30までに担当者へ連絡してください。 ・2月28日実施の場合に欠席される方は担当者へ連絡してください。 			
第2596回★ 飛騨 大日ヶ岳 (1,709m)	3月6日(土) ～7日(日) 6日AM8:00 竹田駅西口集合	井戸 澄夫	6日 竹田駅西口—名神・東 海北陸道—蛭ヶ野IC—高鷲 スノーパークでスキー 民宿 泊 7日 大日ヶ岳往復— 温泉入浴して 往路帰洛
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日目午後はゲレンデスキー。 ・2日目早朝からスノーシューまたはワカンで登ります。 ・参加希望者は担当者へ連絡してください。 			
<p>今月の集会</p> <p>日時 2月9日(火) 18:30～</p> <p>場所 holly's café (ホリーズ カフェ)</p>		<p>企画運営委員会</p> <p>日時 2月22日(月) 18:30～</p> <p>場所 holly's café (ホリーズ カフェ)</p>	



初登山 虎御前山に1月10日(日)17名で登った。記録によると1998年初登山にも三橋さんと大倉さんが担当でJRに乗り虎姫駅から雨の中歩いて虎御前山へ行っている。そのとき、昼食をとった丹羽長秀の陣跡公園には立派なキャンプ場ができています。今年は1月7日の晩に沢山降った雪とその後少し追加されたかもしれないが、まだ融けずに積もっていた。虎御前山山頂に織田信長の本陣があり、向かいの小谷山の浅井長政の城を攻めたのは歴史上有名である。虎御前山と小谷山の間に北陸自動車道が通っていて、その奥に姉川が流れ、背景に伊吹山が悠然と立っている様子を、晴天の賤ヶ岳から眺めたことがあった。虎御前山の後、石田三成の佐和山城址へ行こうとした。歴女がブームであるし、「彦ちゃん」に続き、「石田みつちゃん」がユルキャラで登場し流行っているようだ。仲間に「島さこちゃん」や「大谷ちゃんぶ」もいる。JR新快速長浜行きの右側の車窓から見ていると、彦根駅を過ぎてすぐに低い所に看板がかかっているの、すぐに行けると思ったが、佐和山城址へは雪の積もる虎御前山を登る以上に登らないと行けないと地元の人に教えられ断念し、井伊直興が建立した大洞弁財天に行った。滋賀も京都に劣らず激動の時代の遺産が多い。

そう言えば、後世にどう映るかはわからないが、創部60周年であった昨年は激動の年だった。昨年1月20日、アメリカ合衆国史上初めて黒人の大統領バラク・オバマさんが就任した。3月20日、高速道路の休日通行料金1,000円がETC装着車を対象に一部でスタートし、3月28日からは地方の高速道路にも拡大した。4月にメキシコで患者が確認された新型インフルエンザが急速に世界に広がった。5月21日に刑事裁判に国民が参加する裁判員制度がスタートした。6月25日、「キング・オブ・ポップ」と呼ばれたマイケル・ジャクソンさんが急死した。7月22日、日本の陸地で46年ぶりとなった皆既日食が観測された。7月13日、脳死を「人の死」と認め、また臓器提供年齢制限を撤廃した臓器移植改正法案が参議院本会議で可決、成立した。8月16日、ベルリンで開催された陸上競技世界選手権の男子100m決勝で、ジャマイカのウサイン・ボルト選手が9秒58の驚異的世界新記録で優勝した。200mでも19秒19の世界新を記録した。8月30日、第45回衆議院議員選挙の投開票が行われ、民主党が308議席を獲得し圧勝し、民主党・社民党・国民新党からなる連立政権が誕生した。自民党は119議席と歴史的な大敗北になった。長く続いた自民党政権に終止符を打ち政権交代が実現した。8月3日に押尾学が逮捕され12月7日に再逮捕され、8月8日には酒井法子が逮捕され、芸能界にも合成麻薬MDMAや覚せい剤の魔の手が広がっていることがわかった。これらが代表的出来事であった。

今年に入って、日本航空が破たんした。

当局はというと、地下鉄では政令指定市のなかで唯一財政健全化団体に陥ることが決定的となり、全国トップ水準の大幅な人件費の抑制や駅ナカビジネスの拡大など、コスト削減、増収・増客の取組を進めている。2010年1月4日の門川市長記者会見で、来年度の地下鉄の運賃改定を有識者会議の提言も踏まえて2つの理由から見送ると言及された。ひとつは、昨年来の景気の後退、雇用の悪化、更には最近の円高など、現在も厳しい社会経済情勢が続いていること。もうひとつは、国の同意を得て一般会計が起債を行い、地下鉄会計に対して、今後平成30年度までの間に、従来の計画より約500億円を上回る金額を出資できる見込みとなり、地下鉄事業経営健全化計画にあった5年毎の画一的な運賃改定を回避できる見通しとなったことである。

増収・増客の取組で、地下鉄の9時台～11時台の等間隔運行と5～6分間隔に乗継時間短縮、市バ

スの河原町通（京都駅～河原町今出川）を運行する各系統の増便による3～4分間隔を基本とした等間隔運行、烏丸尾池駅で全ての行き先の最終列車を2～3分間停車させて23：55に一斉発車する全方向乗り継ぎ「シンデレラクロス」、それらは2010年3月実施予定である。利便性が向上するように、できるものから着実に取組が進んで行くようである。

安全で快適な地下鉄線路の維持・補修を仕事にしている僕の立場からは、安全コストまで削減されないよう注意することと、何か増収・増客の取組を考案していくことだと思う。京都市交通局がしっかり基盤にあってこそ、京交山岳部の活動を伸び伸びやれると思うので、職員一丸となって頑張っていきたい。

(2010. 1. 21. 記 Y. S.)

【第2588回例会】

納山祭 牛草山

清水 康裕

今年も登山と一泊の納山祭を開催した。

12月19日8：00竹田駅西口集合なので、全員揃うまで待っていたら、パトカーや救急車が来て物々しくなった。竹田駅近鉄京都行きのプラットホームで人身事故があった。竹田保線区保安員の方の話によると、飛び込み自殺を図った人が勢い余って向こう側の側溝に落ち、命に別状はなく軽い怪我で済んだようだ。おかげで近鉄電車に乗っておられた義弘先輩が大久保駅で足止めを食ってしまわれ、出発が30分遅れた。

牛草山へ向うには鍛冶屋トンネルを抜けて、すぐ右に折れて林道へ入らないといけないのであるが、右折れが急すぎて曲がれないので一旦下ってUターンして登り返して林道へ入った。しばらくすると駐車場に到着する。準備して15分程歩くと登山口が現れる。また15分程登ると東尾根コースとの分岐があり我々は中央コースを登ることにした。さらに5分程登ると本谷コースとの分岐があり依然中央コースを進む。そのあと東尾根コースと出合ったところが尾根道で、すぐに牛草山山頂に着いた。五ヶ所湾のリアス式海岸がよく見える。小一時間昼食をとって下山した。下山路は東尾根コースとした。東尾根四峰487mと書かれた所を通過して、25分程下ると往路の中央コースと出合う。

牛草山から下山したとき、まだ時間があったので「愛洲の里」,「五箇所城址（愛洲氏居城址）」へ行った。「五箇所城は南北朝期に愛洲氏の居城であったが、天正4年（1576年）田丸城主で北畠氏の養子となった織田信長の子信雄の軍に攻められ滅亡した。愛洲移香斎久忠（1452～1528）は、この地に生まれ愛洲影流をひらき、天下に広めた。その愛洲影流は、上泉伊勢守信綱により、新陰流となり、柳生石舟斎の柳生新陰流をはじめ二百余流の源流となり、移香斎は剣祖としてあおがれている。（少々要約した。）」と看板に書いてあった。そういう訳で剣道が盛んらしく、我々が来たときも道場で剣道が行われていた。

旅館「二葉」での飲食は海が近いからか、海の幸が豪勢に出てきた。アルコールが進んできた勢いで、恒例のカラオケを皆でヒネって盛り上がった。

明るる20日の朝、僕は昨晚からの体調不良により、すぐに帰る予定をされていた井戸さんの車に乗せてもらい堀田氏と一緒に帰ることになったので、旅館「二葉」前で解散になった。計画していた朝熊ヶ岳は既に行っている方が多いので誰も行かなかった。

【参加者】 井戸澄夫、岡田茂久、岡本義弘、堀田 剛、吉田 武、渡辺智生、清水康裕

【コースタイム】

12月19日（土）晴れ

8：00 竹田駅西口 8：30—9：15 土山SA 9：35—10：30 玉城IC—11：00 駐車場 11：10…
11：25 登山口…11：40 分岐（中央コースへ：東尾根コースとの分岐）…11：45 分岐（中央コース
へ：本谷コースとの分岐）…12：18 東尾根コースとの出合（尾根道との出合）…12：20 牛草山山頂
二等三角点550.2m 昼食 13：20…13：22 分岐（東尾根コースへ）…13：35 東尾根四峰487m…
14：00 往路出合（中央コースとの出合）…14：10 登山口…14：25 駐車場 14：30—14：50「愛洲の
里」の駐車場…15：00 五箇所城址…15：10 馬山登山口…15：25 駐車場—15：30 旅館「二葉」

12月20日（日）晴れ

8：35旅館「二葉」解散

【第2589回例会】

初登山 虎御前山

堀田 剛

初登山はその年の干支にちなんだ名前の山で、かつ日帰りのできることを条件としている。寅年である今年最初の例会は虎御前山となった。

17名の参加者となった。車3台で竹田駅西口を予定通り出発し長浜へ。虎御前山登山口駐車場に着くと小雨であった。雪は駐車場で10cm程か。

すぐに神社があり、その右横の道へと進む。恒例となっているぜんざいを作る場所を確保するために、キャンプ場へと向かう。雪の階段を上ると大屋根のある適した広場があり、その場所に鍋や食材を置いて先へと進む。

鉄塔が見えてきて、途中鉄塔側に向かうと三等三角点の表示があったが、石標が見当たらない。雪に埋もれていた。大槻さんが持ってきていたスコップで周囲の雪をかくと、やっと見つかった。大倉さんの用意していた三角点を表示したパネルを前にして全員で写真をとる。

そこから元の道に戻り、しばらく進むと頂上に着く。織田信長が陣を築いていた場所である。清水部長の発声により全員でバンザイをし、記念写真を撮り下山するころに、十数名の団体が登ってきた。下山途中でそのような団体とあと3団体程すれちがった。同じ電車で到着したようである。

急いで下山し、ぜんざい作りを急ぐ。井戸さんがいつも率先して作ってくださる。天気はどんどん回復し晴天となった。暖かくなって屋根の雪が溶け出してきた。

駐車場に着いたのは13時過ぎで、まだ早かった。帰路に着くか迷ったが、彦根にある石田三成の佐和山城に行くことにする。山の麓の駐車場に着くと、城跡まではそこから3.5kmとなっており、あきらめることになった。そのかわり、大洞辨財天に参ることにした。法螺貝の鳴るなか、護摩炊きをされていた。十数人の方が熱心に合掌して見入っておられた。

新年らしい、雪とお参りの初登山であった。

【参加者】 井戸澄夫 F 1, 大倉寛治郎, 大槻雅弘, 岡田茂久, 方山宗子, 木原 滋, 清水康裕,
松田誠二, 三橋 勉, 森本清一, 吉田 武, 渡辺智生 F 1, 和田良一 F 1, 堀田 剛

【コースタイム】 1月10日（日）晴れ

8：00 竹田駅西口—9：15 長浜IC—9：40 虎御前山登山口駐車場 10：00…10：15 キャンプ場

(丹羽長秀の陣) …10:45 三等三角点202.9m 11:00…11:15 虎御前山山頂224m 11:25…11:45
キャンプ場 12:55…13:20 駐車場…14:15 佐和山城址麓の大洞辨財天 14:50 (解散) —15:10
彦根 IC—16:40 京都東 IC

【第2591回例会】

焼杉山から瓢箪崩山まで縦走

焼杉山 718m 翠黛山 577m

金比羅山 573m 瓢箪崩山 532m

OB 吉田 武

今日の天気予報では山沿いは時雨から晴れ間が出ると予報していた。

国際会館駅7時40分発の京都バス 小出石行きに乗車したのは、渡辺さんと鷺見さんに清水君の4名、花園橋から大原を越えて大原小学校の旧道「敦賀街道」を通り古知谷のバス停で僕ら4名（うち2名優待）が下車した。

少し北に歩いて古知谷阿弥陀寺の山門で身支度をした。一面真っ白で、5cm位積っている。阿弥陀寺の参道を少し歩いたところから右に道標があったので、地図通りに尾根にとりついた。高圧鉄塔の2本目で初めて展望が開け、向かいには、大原のパブリックゴルフ場がスキー場のように見えた。

15分程登ると3本目の鉄塔があり、ここから左にルートを取り3度ほど登り返したら717.7mの焼杉山に着いた。少し休憩をして、主稜線を下り、寂光院へ下る。

コースと東又川林道から登るコースの十字路に着いた。標高480m位でここからは100mの登りで、高齢のW女史が快調に高度を上げて、我々をしごく。少しだけ下って登りきったら翠黛山に着いた。中休止 雪もこの辺まで来ると少なくなってきた。翠黛山からは少し下って行くが登りにさしかかったところで、金比羅山から登ってくるパーティーと離合する。岩稜地帯でコースを譲り合って少し挨拶をしたら、「古知谷からにしては早すぎる。」と言われたので、「紅一点にしごかれています。」と答えておいた。

金比羅山の三角点はルートから少し離れているし岩場があるので慎重に三角点まで行った。僕の印象では三角点のところは休憩するのにはあまり良くないと思っていたので眺望の良いところで休憩をしようと思ったが、僕の勘違いのようで少し開けた三角点の所で昼食をした。

江文神社から江文峠を越えて樹林の中を相当歩いたが、なかなか寒谷峠まで辿りつかない。地図を見るとだいぶ距離があるので納得。僕の印象では左側に山が見えるはずなのに…やっと寒谷峠に着いた。ここからは少し登ったら、瓢箪崩山に着いた。今日の最後の山 4山目である。2時過ぎなのでこれからは、国際会館駅まで1時間位かと思いながら、岩倉中町を通り岩倉川の川べりを歩いて国際会館駅に着いた。約15kmの距離を今日は歩いた。国際会館駅から四条駅まで乗って「かごの屋」で栄養補給をして解散した。

【参加者】 鷺見壽末子, 渡辺智生, 清水康裕, 吉田 武

【コースタイム】 1月16日 (土) 晴れ時々小雪

7:40 国際会館駅京都バス③乗り場— (京都バス小出石行き) — 8:10 古知谷バス停 8:20…

9:50 焼杉山 三等三角点 718m 10:00…10:30 分岐 (大原, 天ヶ岳, 百井峠との) 10:35…11:00

翠黛山 577m 11:10…11:15 分岐 (寂光院との) …11:40 金毘羅山 三等三角点573m
 昼食 12:00…12:20 江文神社…12:30 江文峠…13:10 分岐 (箕裏ヶ岳との) …13:40 寒谷峠
 13:45…13:55 瓢箪崩山 三等三角点 532m 14:10…14:20 寒谷峠…14:50 飛驒の池…15:00 長
 谷町…岩倉中町…15:35 国際会館駅…16:00 四条駅 かごの屋 (解散)

例 会 報 告

例会No	目的地	月 日	天候	担当者	参加者	記 事
2588	納山祭 牛草山 朝熊ヶ岳	12月19日 ~20日	晴	吉田 武 岡本 義弘 清水 康裕	井戸 澄夫 岡田 茂久 堀田 剛 渡辺 智生	(別稿詳報)
2589	初登山 虎御前山	1月10日	晴	清水 康裕 堀田 剛 松田 誠二 大槻 雅弘 木原 滋 森本 清一 渡辺智生F1	井戸澄夫F1 大倉寛治郎 岡田 茂久 方山 宗子 三橋 勉 吉田 武 和田良一F1	(別稿詳報)
2590	「乗鞍高原スキー」 の集い	1月21日 ~24日		吉田 武		(次号報告)
2591	焼杉山~ 瓢箪崩山	1月16日	晴 時々 小雪	吉田 武	清水 康裕 鷺見壽末子 渡辺 智生	(別稿詳報)

平成22年新年会 (兼 1月集会)

日 時 1月8日 (金) 18:30~
 場 所 「かごの屋」四条烏丸下る地下鉄四条駅6番出入口前 TEL 353-8936
 出席者 井戸 澄夫, 大倉寛治郎, 大槻 雅弘, 岡田 茂久, 岡本 義弘,
 方山 宗子, 国友 修, 小森 浩, 坂井 久光, 坂田 利春,
 田村 正弘, 堀田 剛, 松浦 健一, 松田 誠二, 森本 清一,
 吉田 武, 鷺見末壽子, 渡辺 智生, 和田 良一, 清水 康裕 (20名)

《今年の抱負》

- (岡田) 昨年7月に会社を辞めた。自分で行く、マイペースの山行が難しくなってきた。主体性がないが、誘われると山に行き、山に多く行けるようになった。時間があったらブラブラ行きたい。ええとこ取りしたいので、よろしく願います。
- 1月の例会で京都一周トレイルを計画してもらいありがたい。3月27日に京北コースが開設される。細野小学校…滝又ノ滝…余野、面白いコースである。綺麗な城址もある。セレモニーもあるので、それに合わせて例会を組んでもらえばありがたい。
- (吉田) 昨年暮れから田舎へ帰り、近くの山に登り、新年早々ご来光を見ようとしたが見れなかった。今年も昨年なりの山に登りたい。
- (森本) 昨年は、京交山岳部創立60周年記念 国内及び海外登山にも参加させてもらい、充実した山登りができ満足している。いろいろとありがとう。元旦、比叡山に登ったとき、猛吹雪でご来光を拝めなかった。もうすでに8日間連続比叡山に登った。今年もよろしく。
- (岡本義) 坂井さんから今、昔の奥深い話を聞いていた。大槻さんが一等三角点研究会の長になってその会が活発になった。今年は沢山の山に登れないが、ひとつの山でも何かひとつこだわって挑戦していきたい。
- (田村) 山とは疎遠になってしまった。みなさん、いってらっしゃい!
- (渡辺) 昨年4月に喪中となってしまう60周年記念登山に行けるかどうか心配だったが、大文字山、愛宕山、比良山、60周年記念国内登山「岩木山・八甲田山」、富士山と登り、60周年記念海外登山「台湾 雪山」も良かった。身の丈に合った山へ登りたいと毎年言ってきたが、昨年は身の丈を超えてしまった。そろそろ『送られ人』になるので、少しずつ縮小しなければと台湾で森本さんと話していた。また、京交山岳部はええなあと言いながら酒を飲んでた。
- (松浦) 昼間仕事では中堅になってきた。この中では一番若いので居心地良い。新年会の会場が「かごの屋」に変わってから初めて参加した。変わらぬメンバーが元気で素晴らしく、それが嬉しい。今年チャンスが巡ってきそうなので、皆さんと共に今年は山へ行きたい。よろしく願いたい。
- (方山) 昨年兄が亡くなったので、挨拶できなかった。昨年、海外登山ができて良かった。当局に30何年いたうち2/3は山岳部にいたのだと感激している。いろいろな人に巡り会えて良かった。仕事の合間で山へ行きにくい、今年もできる限り参加したい。
- (鷲見) 12月30日で後期高齢者になった。昨年、60周年記念国内登山「岩木山・八甲田山」、富士山、海外登山「台湾 雪山」に参加させてもらいありがたい。北海道のトマムスキー場へ行ったとき少し衝撃を受けた。今年93歳の奥さんと94歳の旦那さんの夫婦に58歳の娘さんが付き添っていて、旦那さんの頭は少しハゲているものの夫婦共背筋をシャキッとされており、その夫婦から「まだ若いから頑張っ！」と言われてしまった。80歳までいこうと予算をたてていたのに、その夫妻の年齢までいこうとするとあと18年もあり、予算が全然足りない。いい夫婦に出会った。今年もよろしく願いたい。
- (和田) 軟弱な和田である。行ける例会だけ参加している。今年古希を迎える。医者にも言われているので、体調を気にしながら無理せずに、体に合った山に今年もできるだけ参加したい。
- (坂井) もうアカンと思っていたら、アホ・馬鹿だったおかげでまた正月を迎えることができた。もし、かしこければ死んでいただろう。ひょっとしたら来年も死なない。
- (大槻) 先程から京交60周年という言葉をよく聞く。このまえ朝日新聞に原稿を送ったところであるが、京交山岳部といって思い出されるのは何と言っても昭和33年の台高山脈の冬季初縦走

であろう。近藤親分、伊藤潤治さんを始め、ここにおられる岡田さん、坂井さん、鷺見さんは既に我部に在籍されていたと思う。こんにちの創部60周年の京交山岳部があるのは誰のおかげか常に思っておくべきである。

昨年5月命を懸けて劔岳を登った。足元を見たら恐ろしい所をノーザイルで登った。昨年映画「劔岳 点の記」が上映されたこともあって、雪の劔に登れたのはひとつのいい思い出になった。

その時々にはできる限りの山を登って燃え尽きたい。

(国友) 人生で山行きだけがパラダイスではない。名古屋コウチンを20羽飼っている。猫やイタチに狙われるがオール放し飼いでいる。本日、卵を持ってきた。皆さん全員にあたったかどうか。また、猪と鹿の餌も作っている。

それと、農薬を使用せず除草して田植えもしている。来年の新年会には1kgずつでも米を皆さんに配れるようにしたい。仰木峠を(滋賀県側へ)越えて出たところを左に折れて最初の小屋に7:00~14:00または15:00の間にいる。

本日かごの屋さんに天ぷらにしてもらったフキノトウは庭に生えていたものである。

(岡本義:フキノトウは春のものでは?)→今、もう春やでえ!

(井戸) 昨年は生まれて初めて入院生活を経験した。3月に急性盲腸炎、7月にA型肝炎で3週間入院した。A型肝炎はマチュピチュ、ワイナピチュ、チチカカ湖へ行ったときに感染した。創部60周年記念国内登山「岩木山・八甲田山」に行けず申し訳なかった。退院後まだ体調が悪いなか9月初旬に富士山でトレーニングし、10月に創部60周年記念海外登山「台湾 雪山」へ行った。11名全員が登れて嬉しかった。昨年12山登り、月1山ペースを守れた。「台湾 雪山」の日本語通訳 徳さんが11月にお母さんと友人と3人で京都に遊びに来られ歓迎した。徳さんからお礼の年賀状メールが届いた。今年もまた皆さんと一緒に登りたい。くれぐれもよろしく。

(小森) ご無沙汰ばかりしている。年に1回も例会に参加していなかったが、昨年台湾の山「玉山」に参加したいと思った。台風8号で被害を受け「玉山」が登山禁止になって行けなくなったが、「雪山」も行ったことなく参加したかったので参加した。思い出に残っている山行だったので新年会に顔を出した。アラ古希世代! 年間50日くらい登山靴を履いている。

1月4日に愛宕山へ登ったとき、少し堪えた。できるだけ皆さんと楽しく登りたい。

(堀田) 昨年、なんとか創部60周年記念国内及び海外登山に行くと言っていて、約束を守れて良かった。「台湾 雪山」では高山病にかかり、頂上手前でご来光になり、少し遅れて申し訳なかった。(皆さんから:下りは速かったなあ!) 皆さんのお陰で行けた。今年は、岩登りが下手ですが夏に劔岳へ行きたい。冬は無理であるがチャレンジしたい。

(坂田) 2, 3年前に右膝に異常をきたし、山登りをひかえている。昨年12月25日ぐらいから急にややこしくなり、50ml水を膝から抜いた。水は薄いオレンジ色のような黄色で綺麗だった。29日再度40ml抜いた。30日灯油を家の奥に持っていくのがえらなかった。31日大晦日は酒を飲んで紅白を見ていたらイライラしたので、206号のバスで祇園へ行ったら23:00四条通が通行止めになり北のほうに周り込んだので余計イライラした。23:45知恩院の門が閉まっていた居る所がない。タクシーが来ないので、わら天神まで歩き3:00過ぎに帰宅した。朝8:00、すっきり脚が伸びていた。朝、皆と酒を飲んで温泉を汲みに行った。30日とは違い2日間動けた。案外いけた。酒のタタリだろうか。1月5日に京都一周トレイル委員会の整備に参加し休まず歩け具合が良く、新年会に参加できそうだったので、清水部長へ新年会に

参加と連絡した。1月10日の初登山は自分の体がわからないので遠慮しておく。

(大倉) 昨年、大僧正 坂井先生の後ろから前から千何mの山を文句も言わず御伴し素晴らしかった。エネルギーをもらった。皆さんのいい話を聞き、キナバルで燃え尽きたではなく、大槻さんのおっしゃる通り自分にチャレンジし、リアップして、坂井さんの年になっても脚の動く限り登りたいとヒシヒシ感じた。膝は何とでもなる。一に気力、二に気力である。

(松田) 交通局にとって厳しい年になりそうである。昨年、創部60周年記念国内登山「岩木山・八甲田山」ではGPSを装備して最高であった。初登山から1山でも多く参加したい。

(清水) 昨年、色々ご協力いただき、創部60周年事業が7月初旬の記念集会から始まり、そのときに記念品のTシャツ配布、同7月末に国内記念登山「岩木山・八甲田山」、10月に海外記念登山「台湾 雪山」とほとんど終わって、ありがたい。ホッとして納山祭では体調がボロボロだった。まだ体調が良くなく、どこが悪いかわからない。いろいろなコンプレッシャー(コンプレックスとプレッシャーを合成した私語)のせいだろうか。今年はず体調を戻すため、悪いとはっきりしているメタボを治し、力を呼び戻して1山でも多く登りたい。

雑 報

△△△ 1月の集会(新年会)

日 時 1月8日(金) 18:30~

場 所 「かごの屋」四條烏丸下ル地下鉄四條駅6番出入口前 TEL 353-8936

内 容 例会報告, 例会予告, 岳連関係報告, 今年の抱負(別稿詳報)ほか

△△△ 12月の企画運営委員会

日 時 12月22日(火) 18:30~

場 所 holly's café(ホリーズ カフェ 烏丸四條西入ル)

出席者 井戸, 堀田, 清水

内 容 例会予告, 岳連関係報告, ほか

△△△ 他山岳会の会報(受贈分)

1月号 一等三角点, 北山, 京都山岳, 趣味の登山, 青嶺, 木雞, わっぱ

△△△ 平成21年度部費徴収のお知らせ

平成21年度の部費を徴収します。年額6,000円(郵送の方は7,500円)です。企画委員会会計担当(堀田)までお届け下さい。

△△△ 岳連からのお知らせ

積雪期指導委員研修・登山講習及び遭難救助訓練

日 時 平成22年2月19日(金・夜)~21日(日)

出発: 19日22:00 東本願寺前

場 所	大山元谷避難小屋周辺及び登山ルート
内 容	19日（金） 22：00東本願寺前出発 20日（土） ① 一般ルートからの登頂 ② 弥山尾根 ③ 別山バットレス 21日（日） 救助訓練…雪質観察，ビーコン基本操作， 搬出，シェルター作製
参加対象者	日本体育協会スポーツ指導委員 京都府山岳連盟遭対委員会登録の救助隊員 京都府山岳連盟加盟団員 登山技術・遭難救助技術に関心のある連盟加盟団体以外の登山者
交 通	参加者多数の場合はマイクロバスを使用します。
参 加 費	加盟団員の方 2,000円 加盟団員以外の方 2,500円
その他の経費	交通費は参加者で分担します。
宿 泊	元谷避難小屋付近でのテント泊り
持参装備等	テント等団体装備については，打合会で調整します。 個人装備は，冬山一般装備と上記②③を登ろうと思う方は登攀用具
打 合 会	2月15日（月）19：00～スポーツセンター（京都テルサ東館3階）
申し込み方法	2月12日（金）までに清水（090-3864-8269）に連絡をお願いします。 当部の参加希望者を清水がまとめて申し込みます。
そ の 他	この会は，指導員資格更新の際に必要な義務研修に含まれます。

山スキー・スキー愛好者交流会

目 的	山スキー・スキーを愛好する加盟団員相互の親睦・交流を図る。
日 時	平成22年3月14日（日）
場 所	越前 銀杏峰
集 合	3月14日AM7：30 銀杏峰登山口「宝慶寺いこいの森」 （往復の交通は各自で確保してください。もし交通手段のない方があり ましたら，早めに連絡願います。費用は頭割りです。）
コ ー ス	登山口から山頂往復
参 加 費	指導員 1,000円 指導員以外の加盟団員他 1,500円 （保険には各自で加入してください。）
持 ち 物	スキー・山スキー用具一式，昼食，テルモス，その他冬山日帰り用具 （ピッケル，アイゼンは不要），セルフレスキュー用具等
そ の 他	指導員の方へ：この会は指導員資格更新の際に必要な義務研修に含まれ ます。
募 集 人 員	何人でも可能
申し込み方法	3月10日（水）までに参加希望者を清水がまとめて申し込みます。